

図書室だより

Matsuidaminami junior high school library rep
No.1

▶ 水面に散った花びらが帯のように流れる様子を花筏(はないかだ)といいます。



新学期☆始動

桜の開花が早かったことに加え、入学式が9日ということで桜の花の散る中での入学式とはなりませんでしたが、校門のところの枝垂桜が風に枝を揺らせながら新入生を迎えていました。

桜の花を愛でるようになったのは、平安時代ころからとされています。奈良時代のころ『花』と言えば、梅の花のことを指していたようです。桜の花を愛してからの歴史が長い^{さくらふぶき}ためなのか、桜吹雪とか^{はないかだ}花筏とか花が散ってからもその美しさを名残り惜しむかのように桜にまつわる言葉を名付けて春の景色を楽しんでいます。

花を詠んだ歌を紹介します。

春風の 花を散らすと 見る夢は 覚めても胸の さわぐなりけり(西行「山家集」)

友を得て なほぞうれしき 桜花 昨日にかはる 今日^{もうりもとなり}のいろ香は(毛利元就)

散る桜 残る桜も 散る桜^{りょうかん}(良寛)

さまぎまの ことおもい出す 桜哉^{さくらかな (ばしょう)}(芭蕉)

たまには、図書室にある短歌や俳句の書棚にある本を手にとってみませんか。長い小説にも勝る、31文字や17文字の言葉に打ちのめされて欲しいです。

♪前期図書委員が決まりました♪

図書委員長は岩崎絢さん、副委員長は黛さくらさんです。南中の読書活動が楽しくなるような図書委員会を目指して欲しいです。

また、図書委員は率先して図書室を利用して読書したり、学習をしたりして欲しいです。

昼休みの貸し出しも開始しています。図書委員は、11日から早速仕事を覚えてもらいます。バーコードで読み取るときの注意など、しっかり覚えて仕事をしましょう。

今年度も、新しい本を用意していこうと思っています。リクエストにも応えたいと思いますので、今年度もたくさん図書室を利用してください。

